

鳴瀬の生徒は、学校・保護者・地域で育てる

宮城県東松島市	●活動名 鳴瀬未来中学校学校運営協議会	●関係する学校名 東松島市立鳴瀬未来中学校
---------	------------------------	--------------------------

協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	10 学級	のべ児童・生徒数	212 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		13人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有		
	平成27年5月25日設置	—	50人	—	—		
参考URL	www.narusemirai-j.higashimatsushima-c.ed						

●連絡先	東松島市役所生涯学習課	☎ 0225-82-1111
------	-------------	----------------

●体制図

<方針>
 ①学校運営協議会をより機能的にするため「教育活動サポート班」「地域活動サポート班」「安全活動サポート班」の3つの班を組織し、班毎に企画・運営の場を設置する。
 ②班の構成メンバーは、学校運営協議会委員のほか、班のサポーター及び教員とし、必要に応じて、活動に関係する団体にも依頼する。

※班サポーターとは、学校運営協議会から推薦された方々と、必要に応じて保護者、地域住民にサポーターメンバーを募集し、応募によって活動を希望した方で構成する。

●活動の概要・経緯

本市は東日本大震災直後から子供たちの心のケアを中心に被災校の学習環境整備、生涯学習施設の復旧や円滑な学校統合に向けた取組を進めてきた。教育委員会でも「地域とともに育つ学校、学校とともに育つ地域」の理念の下、地域の復興とともに地域の核となる学校づくりを推進するため、全小中学校で学校運営協議会制度の導入を決めた。鳴瀬未来中学校は県内中学校で最も早く、学校運営協議会を設置した学校である。時代の変化に対応し、地域資源を十分に活用した創意ある教育課程を編成し、学校・家庭・地域が一体となり、連携・協働して生徒の教育活動に取り組んでいる。地域の人々に支えられ学んでいくことで、生徒たちも将来の自分がどんな姿でありたいかなど、自らの志をしっかりと持ち、地域への愛着を感じながら地域学校協働活動に取り組んでいる。本市のコミュニティ・スクールのモデル校として、学校と地域の結びつきを年々強化し、その取組を各種研修会等で広く発信している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

平成28年度から始めた『ジョブ・カフェ』は、主に東松島市、石巻市を中心に活躍する職業人の方々から、中学2年生がその職業について話を聞く会である。平成30年度からは、生徒の進路に対する意識を早い段階から高めようと、1年生からこの『ジョブ・カフェ』に参加することとした。本活動への生徒の学習意欲は年々高まっている。比例するように講師を引き受ける企業等も増え、平成30年度は19の団体に協力をいただいた。毎年講師を引き受けている団体は同じ内容とならないようにアイデアを凝らし、実際の作業体験ができる場を設定したり、作業する姿を実際に見せたりしている。さらにはお菓子作りをその場でを行い、その場で試食できる場を設けるなど年々充実した取組となっている。この取組は学校運営協議会の中で委員が提案し、実現の運びとなったものである。

【実施に当たっての工夫】

- ・ 職場体験学習の前に実施することで、各職業に対するイメージを広げ、実際に職場体験を行うことでさらに理解を深められるようにしている。
- ・ 講師として参加した企業、個人から新たな講師へとつなげてもらえるように、働き掛けを行っている。
- ・ 東松島市で育ち、将来、東松島市に貢献する人づくり、仕組みづくりにつなげている。
- ・ 生徒に近い年代の講師（職業人）に来ていただくことで、将来の自分へのイメージを膨らませ、これからの生き方につなげようとする気持ちを育てている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

年々、本取組にご協力頂ける企業、個人事業者が増え、各講師が自分の携わっている仕事のやりがいや魅力を生徒に伝えようとする積極的な姿勢が感じられる。説明だけでなく実物を持参したり体験活動を取り入れたりと工夫をしている。1年生にとっては様々な職種があることを知るとともに、働くことを実感することができる。2年生は、3週間後にある職場体験学習に向けての意識づけとなり、ジョブ・カフェで講師になった職場に訪問する生徒もいることから、地域の社会人とのつながりも作ることができる。また、本活動は保護者も参観でき、家庭で進路について話題にする機会となっている。「地域とともに育つ学校、学校とともに育つ地域」の理念の下、地域の人々に支えられ、ともに学び合うなかで、地域への愛着を膨らませ、笑顔いっぱい学習に励む生徒たちの姿が印象的である。

● その他

地元の個人営業の職業人から行政、株式会社・有限会社など幅広い職業関係者から話を聞いたり、実演・実習に取り組んだりした。30年度参加企業として、「(有)アグリードなるせ」「東松島市漁業振興協会」「航空自衛隊元パイロット」「(株)櫻井建設」「RAIN WE DDING」など19団体ある。



説明や実物の内容を確認し、映像を見ながら、



今年の内容が充実した実習です。